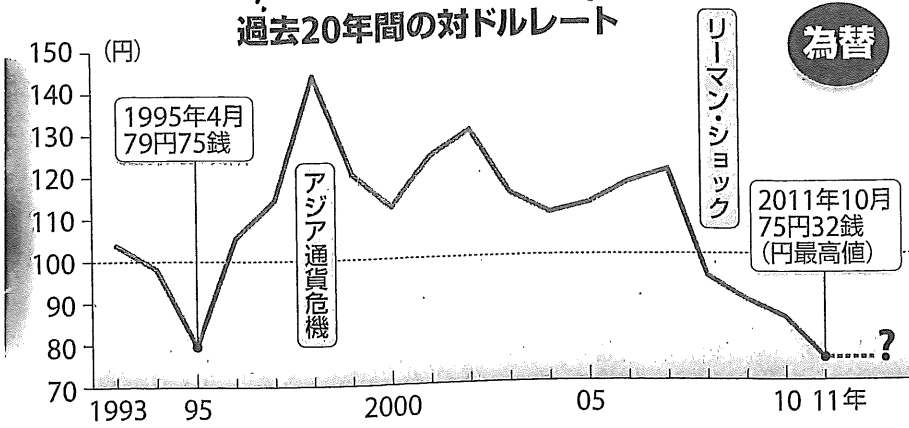


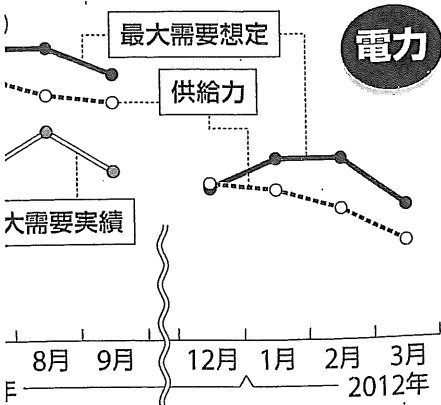
は



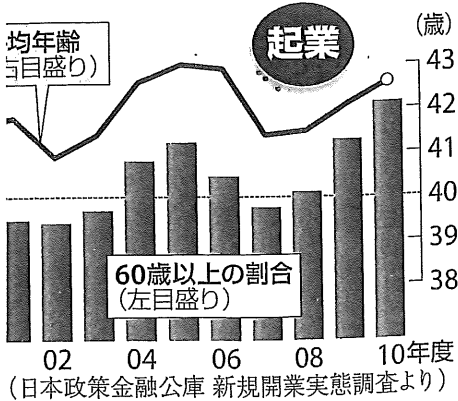
後も「高止まり」

的な円高が進行した。震災
手ぶりに戦後最高値を更新
財政問題から10月31日には

一時1ドル=75円32銭を記録。急激な円高に
輸出企業は収益悪化や価格競争力低下に苦
しんでいる。政府は3度の円売り介入を实
施したが80円台には及ばず、「高止まり」
状況が続いている。



福島第1原発事故を受け、関西の電力需給は厳しさを増している。
夏は8月に6.4%不足の予想で各分野の節電で実際は需要が下
回った。今冬は原発11基すべて停
止する2月に8.4%不足する予想
で、昨冬比10%以上が節電要請さ
れている。自動車業界で休日の振
替操業が広がった夏に続き、生産
態勢への影響が懸念されている。



中高年の比重高まる
経済の活力を示す新規開業だ
が、少子高齢化の中で60歳以上の
起業割合が高まっている。2010年
度は全体の7.7%で20年間に3.5倍
に拡大。平均年齢も42.6歳(91年
度38.9歳)に上がっている。一方
の29歳以下は14.5%から8.7%に
低下しており、知識、技術、経験
のある中高年の起業に頼る比重が
高まっている。

風上へ飛べ

東日本大震災と電力需給の逼迫、超円高…。日本経済はいくつもの重荷を背負って
新年を迎えた。向かい風に顔をそむけず、そこに見えてくる新たなニーズをつかもう
と奮闘する京滋の事業者たちを追った。

共同開発した武士米弁当の味を確かめる中嶋さん(左)と
関社長―昨年12月、京都市左京区みやこめつせ



TPP (環太平洋連携協定) アジア太
洋経済協力会議 (APEC) 参加国を中心
に締結を目指す自由貿易協定の一種。米国、オ
ーストラリアなど9カ国の交渉では関税の原
則撤廃、投資や労働、金融、医療などの非関
税障壁撤廃も掲げる。昨秋に日本、カナダ、
メキシコも参加方針を表明。日本の農業分野
ではコメの77%など高関税の牛肉、乳製品、
砂糖などへの影響が大きい。

―5回掲載の予定で
(上野正俊)

① TPPと農の産業化

付加価値高め販路開拓

「素材の味が出ている。京都
らしくいいじゃないか」。地
場産の黒米と野菜を使った彩り
豊かな弁当やサンドイッチ、ピ
ザが並んだ。先月、京都市左京
区のみやこめつせで開かれた農
業ビジネスフェア会場。出展し
た弁当店運営の京フーズ(中京
区)社長の関佳彦さん(50)と
農家の中嶋直己さん(30)は伏
見区へは試食をしながろうなず
いた。

中嶋さんは農家の4代目。就
農して3年足らず、古代米の黒
米栽培に力を入れ、「武士米」
を受け入れてもらうこと。一昨
年夏、市内で七つの弁当店を持
つ関さんと出会い、「武士米を
売りにオール京都の『産地消』
弁当、総菜を作ろう」と共同開
発を始めた。

商品化は京都府「農商工連携
応援ファンド」の支援認定を受
け、武士米弁当はイベント向け
などを想定。手軽な武士米サン
ドは観光客が集まる嵐山に今春
に店を構える予定で、2人は京
都産食材でつくる「農家レスト
ラン」の構想も練る。

昨年11月、政府はTPP(環
太平洋連携協定)への交渉参加
を表明した。関税撤廃で壊滅的

打撃になると農業団体が反対す
る一方、低所得に就農者減少が
続く現状から、食の安全や高付
加価値に活路を探る動きもあ
る。京滋でも海外への京野菜や
近江牛の売り込みが始まってい
る。

高級食材を扱う台湾・台北市
の百貨店「SOGO」内のスー
パーで昨年11、12月、京都産米
や宇治茶、京野菜が並んだ。九
条ねぎなど販売の「こと京都」
(伏見区)の山田敏之社長(49)
も乗り込み、プレートで焼いて
現地客にポン酢で試食してもら
った。売価は日本の倍以上にも
なるが、富裕層は買ってくれた。
「食のいいものには金を使って
くれる。京野菜の良さを伝える
食への提案も必要だ」と手心
えをつかんだ。

現在、府内の農家グループと
組み、九条ねぎなど4種類のお
かずのまんじゅう「京野菜おや
き」も開発中だ。今春に名神高
速道路のドライフィンに数店出
す予定で、冷凍で出荷するため
アジア輸出も視野に入れている。
「京都というブランド力と
付加価値をアピールしたい。京
都の農業の『産業化』はこれか
ら。可能性は大きい」